

吉原北中学校 生活の心得

★5つのKeyword★

① 『中学生らしさ』

② 『時と場面に適した』

③ 『清潔感』

④ 『入試の場面に適した』

素敵な北中生になるために…



⑤ 『自分で考えて判断する』

※判断に困る場合は先生に相談しましょう。

(1) 髪型 (学校生活における学習や運動の妨げにならない髪型にしましょう。)

- ・目や肩にかからない程度の髪の長さにしなすう。
- ・目や顔が隠れないように前髪や横髪の長さに気を配り、肩にかかる髪は、一つまたは二つ結びにしなすう。
- ・髪をしるゴムや留めるピンは、黒・紺・茶色とし、装飾のない物にしなすう。
- ・脱色、染色、パーマ(縮毛矯正を除く)、エクステはしないようにしなすう。
- ・整髪料を付けないようにしなすう。

(2) 顔・体

- ・化粧(つけまつげ・アイプチ・マスカラ・カラーコンタクト)はしないようにしなすう。
- ・眉毛を整えたり、抜いたりしないようにしなすう。
- ・日焼け止め・リップクリーム・ハンドクリーム・汗拭きシートは色や香りのついていない物であれば使用しても構いませんが、時と場所を考えなすう。

(3) 服装

- ・学校指定の制服を着用しなすう(5月～10月は夏服、10月～5月は冬服とし、5・10月は更衣期間)。ただし、冬服の期間であっても、気候や体調にに応じてYシャツでの登校でも構いません。
- ・袖を折る場合は肘上まで折りなすう。
- ・ズボンハ腰の位置で履かないようにしなすう。スカートは、膝が隠れる長さとし、折らないようにしなすう。
- ・ジャージの着用時は、ファスナーを下げすぎないようにしなすう(目安ハ青い所)
- ・防寒着(肌着、セーター等)ハ、冬服期間の使用とします。(白・黒・紺・灰・茶)。タイツ・レギンス・オーバーニーソックス等は華美でないものとし、制服やジャージから見えなすうようにしなすう。(スカート着用時は可)
- ・マフラー・ネックウォーマー・手袋等の防寒用具ハ、昇降口で着脱しなすう。
- ・ひざ掛けを使用しても構いませんが、自己管理できる適切な大きさの物にしなすう。
- ・登下校時に、熱中症予防のために、帽子や日傘を使用しても構いません。

(4) 靴・靴下・その他

- ・色の指定はありますが、運動に適する靴・靴下を履きなすう。
- ・通学かばんは自由のため、キーホルダー等をつけることはやめなすう。